

シラバス

2025 年度

ファインアート科絵画専攻3年

学校法人高澤学園 美術造形専門学校

創形美術学校

ファインアート科／ビジュアルデザイン科／研究科

ファインアート科絵画専攻

シラバス

学科科目：前期学科授業名：「古美術研修」 担当教員：専任教員、北 進一

授業期間：2025 年 5 月 13 日(月)–5 月 16 日(金)

修得単位：1 単位

学習目標：ファインアート科、ビジュアルデザイン科 3 年生合同で行動。京都に 3 泊 4 日。仏像や障壁画を拝観。一般には公開していない特別拝観の寺院などに行く。（等伯の襖絵・等伯の障壁画・探幽の障壁画・狩野永岳の襖絵など）

授業内容：研修で見る寺院、仏閣にある仏像や襖絵、障壁画などは図録や美術書といった図版でしか普段は目にすることができません。たまに美術館で特別展示を行うこともありますが、現地で間近に見るのとは全く雰囲気も感じ方も違います。参加することはたとえ分野が違っていても今後の制作に良い刺激になることでしょう。

実技科目：前期実技授業名：「絵画総合研究」

担当教員：工藤礼二郎、青木聖吾、山本 晶、山口 藍

授業期間：2025 年 4 月 9 日(水) - 7 月 12 日(土)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：15 単位

※アートの現場(山口藍)=AM：

4/17(木), 4/24(木), 5/10(木), 5/22(木), 5/29(木), 6/5(木), 6/19(木), 6/26(木), 7/3(木)

※アーティストブック(山本晶)=AM：

4/22(火), 5/20(火), 5/27(火), 6/3(火), 6/10(火), 6/17(火), 6/24(火), 7/1(火), 7/8(火)

※ステイトメント(工藤礼二郎)=AM(2 限)：

4/16(水), 5/7(水), 5/21(水), 6/4(水), 6/18(水), 7/2(水)

学習目標：2 年次に行ってきた実習・演習を通して模索してきた各自のテーマを大作制作に繋げるべく、表現形式や支持体、描画材料など総合的に検証し 9 月の校外展のための作品制作を行う。

アートの現場(山口藍)：可能な限り多様なギャラリーを巡り、作家やギャラリースタッフなど現場での様々な視点を自分なりに解析し、社会における美術の在り方を積極的に考察しながら自分の作品の核心を探る。

アーティストブック(山本晶)：気になっている表現方法や、新しく取り組みたい表現方法など、あるいは「アートの現場」のギャラリー巡りで興味を持った表現方法など、積極的に取り組めるようにする。

さまざまな表現を実際に取り組むため、画材や素材を研究し、自分に合った表現方法・描き方を探る。

ステイトメント(工藤礼二郎)：ステイトメントの確立により、自らの作品の方向性を簡潔かつ明確に言語化し、第三者の作品理解を深めることを目的とする。

授業内容：思いつきからワクワクする表現へどうやって繋げればいいのか。9:20 に集まって今日（こんにち）の美術について簡単なレクチャーがあります。それを聞いてからの制作となります。個人の視点がどのように表現方法につながるのか。個人の内側にある発想が公共空間に置かれた時にどのように映るのか。演習を通して体験します。

アートの現場(山口藍):授業期間に開催されている展覧会を実際に巡り関係者に話を伺い、それぞれ考察した内容を発表し互いの意見を尊重しつつ作家の意図することを紐解いていく。同時に各自が今後予定している校内外での展示に繋がるよう、作品のみならず展示空間を構成する意識を持って臨む。

アーティストブック(山本晶):一枚の絵画ではなく、一冊という形式で、あるいはそもそも「本」という形式を利用して自身の世界観を表現したものをアーティストブックといいます。どんな表現を自分は好きなのか、2年間に発見した興味やこれから試してみたい表現など、ワークショップ形式で実験を通じて一冊の本を作ります。

ステイトメント(工藤礼二郎):各自の制作テーマに沿ったステイトメントを7月の郊外展に向けて確立する。またそれらを元にポートフォリオの充実を図る。

学校法人高澤学園

創形美術学校

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-31-2

TEL 03-3986-1981 FAX 03-3986-1982

URL <https://www.sokei.ac.jp/>

E-mail: sokei@sokei.ac.jp